

## JAS Information

## 平成27年度6回(平成28年3月度)

## 理事会報告・運営会議報告

## 理事会 議事

2016年3月23日に平成27年度第6回理事会・運営会議が理事12名、監事2名と1名の理事代理の方の出席のもと開催されました。

## 1. 第1号議案：新会員の承認を求める件

平成27年第5回(2月)理事会以降、平成28年3月22日までの間に入会申請のあった、法人正会員4社、並びに、個人正会員3名の入会が申請通り承認されました。今回入会承認された法人正会員3社は下記の通りです。

- ・ ハーマンインターナショナル株式会社：アメリカ合衆国コネチカット州スタンフォードに拠点をもつ世界的なオーディオ企業の日本法人で今回再入会。家電オーディオ製品の輸入販売、自動車用インフォテインメント・オーディオシステムの開発、営業と手がけており JBL など有名ブランドを持つ。
- ・ ASUS JAPAN 株式会社：中華民国台北市に本社を置く PC および PC パーツ、スマートフォン、周機器製造企業の日本法人で輸出入業および販売を行っている。ハイレゾオーディオをより普及させるために、ロゴを自社対応製品に貼り、プロモーションさせる為に入会を希望。
- ・ 株式会社 SIX：株式会社博報堂(東京都港区)がデジタル領域へ強みを持つ社内クリエイターを集めデジタル領域やマス領域など次世代型クリエイティブ開発の為に上げた新会社。ハイレゾ対応プロダクトを計画中。
- ・ 株式会社デジオン：前身はワープロソフト一太郎で有名なジャストシステムの福岡研究所でマルチ

メディアに特化しスピンオフした企業。波形編集アプリにてハイレゾ・ロゴを取得しハイレゾ市場へ参入及びハイレゾ普及を進める予定。

## 2. 第2号議案：平成28年度事業計画案と収支予算案の承認を求める件

① 事業計画案：配布資料を用いて校条会長から説明されました。

② 事業計画策定上の課題に対する考え方：

- ・ 政府が2017年に引き上げ表明している消費税率に対応する為の会費見直し可否、正会員/賛助会員と二つある会員区分の見直し、事業規模に対する会費区分の適正性、についてそれぞれ検討していきます。
- ・ 役員の在り方、役員選出基準について公正性/責任性的確性から再構築が必要と考えます。
- ・ 中期事業計画を策定せず、当面ハイレゾ関連に軸足を置き、定義問題整理、使用希望企業への内外対応を含め、普及拡大に注力します。
- ・ 「ハイレゾの拡大」「ライフスタイルの提案」「地方展示会の展開」でのマーケティング視点、「技術的提案強化」「カンファレンスでの啓発」「ホームシアター分野」での技術視点、この二つの視点で市場創造を進めます。
- ・ 理事会の強化を図り、さらに会員企業の協力を得てマーケットデータ収集を進めます。
- ③ 具体的事業を推進する組織体制について：
- ・ 九つの委員会と三つの特別会議を下記のように統廃合します。
- ・ 「ヘッドホン試聴環境改善委員会」を「ヘッド

ホン委員会」とし活動分野を拡大します。

- ・ 「ネットワーク・オーディオ委員会」に紐づけたハイレゾ関係を特別会議へ移行します。
- ・ 「AV環境改善講座委員会」を廃止し特別会議へ一部移行します。
- ・ 「音の日委員会」「JAS ジャーナル編集委員会」「展示会実行委員会」「音のサロン委員会」「カーオーディオ専門委員会」「良い音委員会」は継続します。
- ・ 特別会議「ハイレゾ推進会議」でハイレゾ事項は一本化し定義検討や内外対応を行います。
- ・ 特別会議「マーケティング会議」にAVマーケティング研究会を兼務しホームシアター市場の研究、セミナーの企画開催、併せて旧講座のライセンス管理も行います。
- ・ 特別会議「組織・財政会議」の継続
  - ④ 収支予算案：事務局から下記の通り平成27年度見込み、及び、平成28年度予算案が説明されました。
- ・ 平成27年度の一般会計収支見込み：ハイレゾ関係での新規入会企業増による収入増があり、事務局職員入れ替えに伴う人件費とweb改定制作費が支出増となったが、収支は150万円の黒字を確保しました。
- ・ 平成28年度予算案：会費収入は退会企業を想定し慎重に読み前年度-200万円に設定し、支出はハイレゾを中心として普及啓発を厚くし最終的に30万円の黒字になる計画です。

その後、各理事により意見交換、討議がなされ平成28年度事業計画案と収支予算案はともに承認されました。

3. 第3号議案：役員推薦委員会に関する報告の概要
  - ・ 役員推薦委員会事務局（相澤監事）より3月4日開催の会議結果が報告されました。
  - ・ 役員推薦候補名を平成28年度一回目の理事会に提案します。

## 運営会議 議事

1. 展示会についての確認：校条会長から下記の通り説明されました。
  - ・ 2017年5月開催予定の東京国際フォーラム・ガラス棟見取り図と現段階で考えられる全展示部屋の出展費用一覧について説明しました。
  - ・ 理事企業は出展マストで考えて頂き、自社出展が不可能な場合でも応分の費用負担の検討をお願いします。
  - ・ パナソニック小川理子理事、ソニー小川功一理事、パイオニア蒲生宣親理事、ヤマハ猿谷徹理事から、それぞれ出展参加への力強い決意が述べられました。
2. ハイレゾ・ロゴに関する報告：事務局から説明された主な概要は下記の通りです。
  - ・ ハイレゾ・ロゴは67社から520に上るモデルが登録されています。
  - ・ ロゴ規定見直を行う「ハイレゾ幹事会」を「ハイレゾ推進会議」に名称変更し活動します。
  - ・ ハイレゾ・ロゴの普及に向け昨年度協会とパートナーシップ契約を結んだCTAの米国外の新会員募集中止に伴い、直接協会へ海外からの問い合わせが急増しており、CTAのInternational Affiliate Membership制度を踏襲し、協会が海外ロゴ賛助会員(仮)を新設し運営対応するために、法律事務所を交えて慎重に準備を進めていきます。